



Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

秋田県

K・Yさん

この度は橋本様からのあたたかいお心をいただきました。本当にありがとうございました。

夫が亡くなってから早くも1年5ヶ月となり長男も春からは小学生となります。どんなにかランドセル姿を見たかったかと思うところもあります。

おかげ様で家族は皆元気で過ごしております。子どもはまだまだお父さんは帰ってくるものだと思っているようですが、いずれはわかってくれるだろうと思っております。まっすぐ前を見て、自分の足で歩いていける逞しい子になって欲しいです。今回のように皆様から支えていただいていることを忘れずに頑張ります。本当にありがとうございました。

岐阜県

S・Hさん

主人を亡くしてから17年が経ちました。当時1歳10ヶ月だった娘も19歳になり、志望の大学を受験するためにがんばっております。この17年間、いろいろな方の励まし、支えを心の糧にしてまいりました。その心の糧の一つが貴基金です。

今年、年金機構から「減額決定」との事務的なお知らせを受け取りました。分かっていたこととはいえ、これからどんどんお金が必要になるわが家にとっては、この減額は非常に痛く、思わず涙がこぼれました。

こちらの基金からの送金も娘の誕生月までで終了です。これも理解しておりました。しかし、前述の年金機構の対応と貴基金の対応が、同じ終了をお知らせするにしても全くの正反対だったのです。私は、貴基金からのお知らせの温かさに、逆に涙がこぼれました。

これまで長い間、ありがとうございました。私たち母子も、いろいろな方々の支援により生かされていることを自覚し、日々感謝していきたいです。私たち母子のような家族を新たににつくらない社会になることを切に願っております。

大阪府

T・Aさん

この度は次男の高校入学祝の橋本給付金を送って下さり、ありがとうございました。

中学から続けてきたバスケ部に入部を希望しておりますので、ユニフォームやシューズの購入費用にあてさせていただきます。長男が7歳、次男が4歳の時に夫が亡くなり、当時は仕事と子育てと家事、すべて一人でやっていけるだろうか、なにより子供たちがまっすぐ育ってくれるだろうか、不安で押しつぶされそうになる毎日でした。ですが周りの方の助けもあり、二人の息子たちは優しい性格に育ち、私を精神的に支えてくれるようになりました。

経済的にはとても余裕があるとは言えませんが、私のフルタイムの仕事と、交通遺児等育成基金の給付金でなんとか人並みの生活を送れています。あと数年お世話になりますが、よろしくお祈りします。

兵庫県

B・Sさん

私は中学3年生の受験生です。
図書券のおかげで、たくさんの勉強をする気が出来ました!!(^w^!!
大事に使わせてもらいます!
3月の試験場に向けて、毎日辛いですががんばります。



匿名希望

主人が亡くなってから9年の月日が流れ、今年の4月、娘が中学校へ入学しました。主人の葬儀の際、死の意味がわからず「パパは寝ているの？」と私に問いかけた当時4歳の娘が成長し、中学の制服に身を包んでしっかり歩く姿を見て、入学式の間は涙が止まりませんでした。

おかげ様で親戚や知人にも恵まれ、育成基金などを利用させていただき、精神的にも経済的にもなんとか母娘二人でやっていけています。周りの方々への感謝を忘れず、明るく生きて行こうと思います。これからもよろしく願いいたします。

フルムーンさん

お世話になっております。0歳で父を亡くした娘も6歳になり、いよいよ小学生となります。この度橋本給付金をいただきました。大変ありがたく思っております。

学校指定の用品が多く出費が重なり、娘の望む文具類の購入が厳しいなあと考えていたのですが、おかげ様で全て望み通りの準備ができ、娘も4月を待ち焦がれています。本当にありがとうございました。

愛知県

Y・Mさん

孫の高校への入学に際し橋本給付金より多額なお祝い金が頂けるとのこと大変うれしく思っております。特にこの時期は何かと出し入れの多い時で大変ですが橋本さんの意思を尊重し大事に色々ご購入したいと思います。どうもありがとうございました。

匿名希望

子ども達も自分で見つけた道を進んでいます。

子ども達の母親の生命を奪った加害者からは、謝罪の言葉も全く無く、私の中の憎しみと憤りは消えることはありません。子ども達には憎しみを持ってほしくありません。心の無い、人間の形をした加害者への憎しみを心の奥深くにしまい込んだまま、私は墓場に行くつもりです。基金、お世話になりました。

京都府

Y・Yさん

お祝い金を贈って下さり、どうもありがとうございます。図書カードも大切にに使わせていただきます。

4月からは中学生になり、色々大変になりますが、応援してくださっている方々がいらっしゃると思うと、勇気が湧いてきて今まで以上に頑張っていこうと前向きな気持ちになれます。長男の方は、高三になり受験生となるので、この春からは気を引き締めて子供たちをサポートしていこうと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。

大阪府

M・Hさん

娘は中学1年生の中頃から家に引きこもり、どうなるかと心配しましたが、2年かかって今では高校(通信制)に通い、来年には何とか卒業できそうです。本人は短大か、専門学校に行くという目標に向かって頑張っています。

これも交通遺児等育成基金のおかげだと感謝しています。姉とともに、長い間お世話になり本当にありがとうございました。

宮崎県

H・Nさん

2000年に主人が交通事故で亡くなって13年、2歳、6歳、7歳だった娘たちも成長し、長女は成人式を迎えました。

突然の出来事で幼い子供を抱え、途方に暮れていた私たち家族がここまで頑張ってきたのも、周りの皆さん、天国の主人、そして貴基金のおかげだと日々感謝しております。

末の娘もこの度中学校を卒業し、高校へ進学します。上の二人も大学生でまだまだ経済的には厳しい生活ではありますが、何とか先の見える人生になってきたかと思えます。

これからも家族のみんなで力を合わせ、天国の主人によく頑張ったとほめてもらえるよう子供たちを立派に育て、そして楽しく生きていきたいと思っております。ありがとうございます。



宮城県 S・Sさん

いつもお世話になっております。
「橋本給付金」のご案内、図書カード
ご送付いただきありがとうございます。
大切に活用させていただきます。

当時5歳だった長女も、早いもので10年が
経ち、この春高校進学を迎える時期になり
ました。おかげさまで、健康を成長し
てくれたこの10年、娘にも支えてくっ
ていた家族をはじめ世の中の皆様に
感謝の気持ちがいっぱいです。震災も
なにか乗り越え、ありがとうございました
の日々です。(震災時お見舞い金も本当にありが
たかったです。とても助かりました。)一人親で不
安に感じることが、二人の娘の笑顔
をみて、自ずから娘達を社会に送り出
せるよう、これからもつとめてまいります。
いつも支えていただき、本当にありがとうございます。

埼玉県 K・Yさん K・Nさん

● 娘さんより

10年以上にわたり、大変お世話になりました。ありがとうございました。おかげ様で無事中学校を卒業し、高校に進学することが決定いたしました。それも、橋本むつさんを始めとする皆様のご厚意があったからです。今まで本当にありがとうございました。4月からの高校生活も充実したものにしたいです。

● お母様より

思い起こせば突然の主人の死から10年以上の歳月が経過しておりました。当時3歳と4歳の子どもを抱え不安でいっぱいの中、貴基金の事を教えて頂き加入いたしました。

同じ思いをされている方々がこんなにも沢山いらっしゃることに驚愕いたしました。却ってそれが私の心の支えでもありました。橋本むつさんをはじめ、基金に携わる全ての方々にお礼申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。最後に、今後私たちのような思いをする人が少しでも減ってくれることを切に願っております。

千葉県 O・Jさん

主人が亡くなり、もうすぐ2年が過ぎようとしています。私一人では子育てと仕事の両立は難しく、その他色々あり実家に戻り、子ども達も転校することになったり…と思いつくとまだまだ涙が出てきますが…。それでもこうやって、家族4人で前に進んでいることに幸せを感じます。

この度は中学入学のお祝い頂き、ありがとうございます。「なんでお祝いをもらえたの?」と聞かれ「頑張っている子を応援してくれたんだね、きっと」と答えました。お祝いのお金で制服を買わせていただきます。本当にありがとうございました。

東京都 Y・Sさん

一人息子が他県の大学へ進学し、母と息子、それぞれ一人暮らしの生活が始まりました。夫の事故、子育て、私自身の仕事、息子の反抗期、受験、大学進学と、あつという間の日々でした。息子が家を出てどんどん自立の道を歩んでいく姿を見ていると、淋しいような、肩の荷が少し軽くなったような…複雑な親心です。

今までの基金からの給付金はほとんど手を付けずいたので、それを学費と息子の4年分の生活費にあてようと思っています。「お金のことは心配しないで、行きたい学校で勉強してください」と言えて本当にありがたかったです。

【基金事務局より】

春号から始まった「ボーノBento」のコーナー。お楽しみいただけていますか? お弁当のふたを開ける瞬間は、たまたなくワクワクしますよね。これからもそんなワクワク感を裏切らない、味も見た目もおいしいお弁当を紹介していきます。お料理が得意な加入者さんは、作って家族の皆さんに食べてもらいましょう。

「○○を使ったおかずのレシピを教えてください!」や、「運動部なのでお腹いっぱいになれるお弁当メニューが知りたい!」など、質問やリクエスト、ご意見などお待ちしております。